

火災統計

西尾市消防本部 令和5年 火災概要

1 出火件数

令和5年中における出火件数は59件で、前年の61件と比べ2件減少した。

月別にみると、12月が10件（16.9％）と最も多く、次いで7月が8件（13.6％）、10月が7件（11.9％）、1月及び4月が各6件（各10.2％）、5月が5件（8.5％）、2月及び11月が各4件（各6.8％）、3月及び9月が各3件（各5.1％）、8月が2件（3.4％）、6月が1件（1.7％）の順であった。

地区別にみると、「一色地区」が16件（27.1％）で最も多く、次いで「西尾地区」が13件（22.0％）、「平坂地区」が11件（18.6％）、「幡豆地区」が6件（10.2％）、「福地地区」、「三和地区」及び「吉良地区」が各4件（各6.8％）、「室場地区」が1件（1.7％）の順であった。

2 死傷者

火災による死者は1人、負傷者については4人であった。

3 火災種別

建物火災29件（49.2％）、林野火災1件（1.7％）、車両火災4件（6.8％）、その他火災25件（42.4％）であり、船舶火災及び航空機火災はなかった。

前年に比べ、その他火災が2件増加し、建物火災が1件、林野火災が1件、車両火災が2件それぞれ減少した。船舶火災及び航空機火災に増減はなかった。

4 出火原因

「放火・放火の疑い」が10件（16.9％）で最も多く、次いで「たき火」が8件（13.6％）、「たばこ」が6件（10.2％）、「焼却炉・炉」が4件（6.8％）、「こんろ」及び「電気機器」が各3件（各5.1％）、「電灯・電話等の配線・配線器具」が2件（3.4％）、「火遊び」、「火入れ」及び「風呂かまど」が各1件（各1.7％）であった。

5 損害額

1,431,845千円で、前年の245,192千円と比べ1,186,653千円の増加となった。1件当たりの損害額は24,269千円であった。

※ 各割合は、表示単位未満を四捨五入している。また、端数調整をしていないため、合計が100パーセントとならない場合がある。以下同じ。

火災発生状況

区分	単位	令和5年 (A)	令和4年 (B)	増減数(A)－(B) (C)	増減率(%) (C)/(B)×100
出火件数	件	59	61	△2	△3.3
建物火災		29	30	△1	△3.3
林野火災		1	2	△1	△50.0
車両火災		4	6	△2	△33.3
船舶火災					
航空機火災					
その他火災		25	23	2	8.7
焼損棟数	棟	47	39	8	20.5
全焼		7	9	△2	△22.2
半焼		3	2	1	50.0
部分焼		26	11	15	136.4
ぼや		11	17	△6	△35.3
建物焼損床面積	㎡	4,013	1,341	2,672	199.3
建物焼損表面積		118	102	16	15.7
林野焼損面積	a	67	2	65	3,250.0
死者(30日死者含)	人	1	4	△3	△75.0
負傷者(30日死者除)		4	8	△4	△50.0
り災世帯数	世帯	29	26	3	11.5
全損		4	6	△2	△33.3
半損		1		1	皆増
小損		24	20	4	20.0
り災人員	人	80	60	20	33.3
損害額	千円	1,431,845	245,192	1,186,653	484.0
建物火災		1,430,826	213,647	1,217,179	569.7
林野火災					
車両火災		445	13,736	△13,291	△96.8
船舶火災					
航空機火災					
その他火災		574	17,809	△17,235	△96.8
出火率		3.5	3.6	△0.1	

- 1 「全焼」とは、建物（収容物を除く。）の焼損部分の焼き損害額が火災前の建物の評価額の70%以上のものをいう。
2 「半焼」とは、建物（〃）の焼損部分の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20%以上のもので全焼に該当しないものをいう。
3 「部分焼」とは、建物（〃）の焼損部分の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20%未満のものでぼやに該当しないものをいう。
4 「ぼや」とは、建物（〃）の焼損部分の焼き損害額が火災前の建物の評価額の10%未満であり焼損床面積が1㎡未満のもの又は収容物のみ焼損したものをいう。
5 「全損」とは、建物（収容物を除く。）の焼損部分の火災損害額が火災前の建物の評価額の70%以上のものをいう。
6 「半損」とは、建物（〃）の焼損部分の火災損害額が火災前の建物の評価額の20%以上のもので全損に該当しないものをいう。
7 「小損」とは、建物（〃）の焼損部分の火災損害額が火災前の建物の評価額の20%未満のものをいう。
8 出火率は、人口1万人に対する出火件数をいう。（令和5年12月1日現在 170,316人）

火災種別の割合

火災種別	令和 5 年		令和 4 年	
	件数 (件)	割合 (%)	件数 (件)	割合 (%)
建物火災	29	49.2	30	49.2
林野火災	1	1.7	2	3.3
車両火災	4	6.8	6	9.8
船舶火災				
航空機火災				
その他火災	25	42.4	23	37.7
計	59	100	61	100

月別火災件数

種別 月別	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災	計 (件)
1月	2					4	6
2月	3					1	4
3月	1		1			1	3
4月	4	1				1	6
5月	2					3	5
6月			1				1
7月	5					3	8
8月	2						2
9月	1		1			1	3
10月	1					6	7
11月	3		1				4
12月	5					5	10
計 (件)	29	1	4			25	59

覚知別火災件数

区分	件数等	件数 (件)	割合 (%)
火災報知専用電話 (NTT加入)		4	6.8
火災報知専用電話 (NTT加入除く)		5	8.5
火災報知専用電話 (携帯)		39	66.1
加入電話 (固定)		2	3.4
加入電話 (携帯)		1	1.7
駆け付け通報			
事後聞知		8	13.6
その他			

※ () は発信者の通報手段

地区別火災件数の推移

年 地区別	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
西尾地区	21	10	15	18	13
平坂地区	7	12	15	8	11
寺津地区	5		1	3	
福地地区	6	2	5	6	4
室場地区	1	2	2	2	1
三和地区	4	3	3	2	4
米津地区		1	2	4	
一色地区	4	10	8	10	16
吉良地区	7	5	12	5	4
幡豆地区	6	6	7	3	6
計（件）	61	51	70	61	59

火災種別損害額

火災種別 区分	損害額（千円）	割合（％）	1件当たりの損害額（千円）
建物火災	1,430,826	99.9	49,339
林野火災			
車両火災	445	0.0	111
船舶火災			
航空機火災			
その他火災	574	0.0	23
計	1,431,845	100	平均 24,269

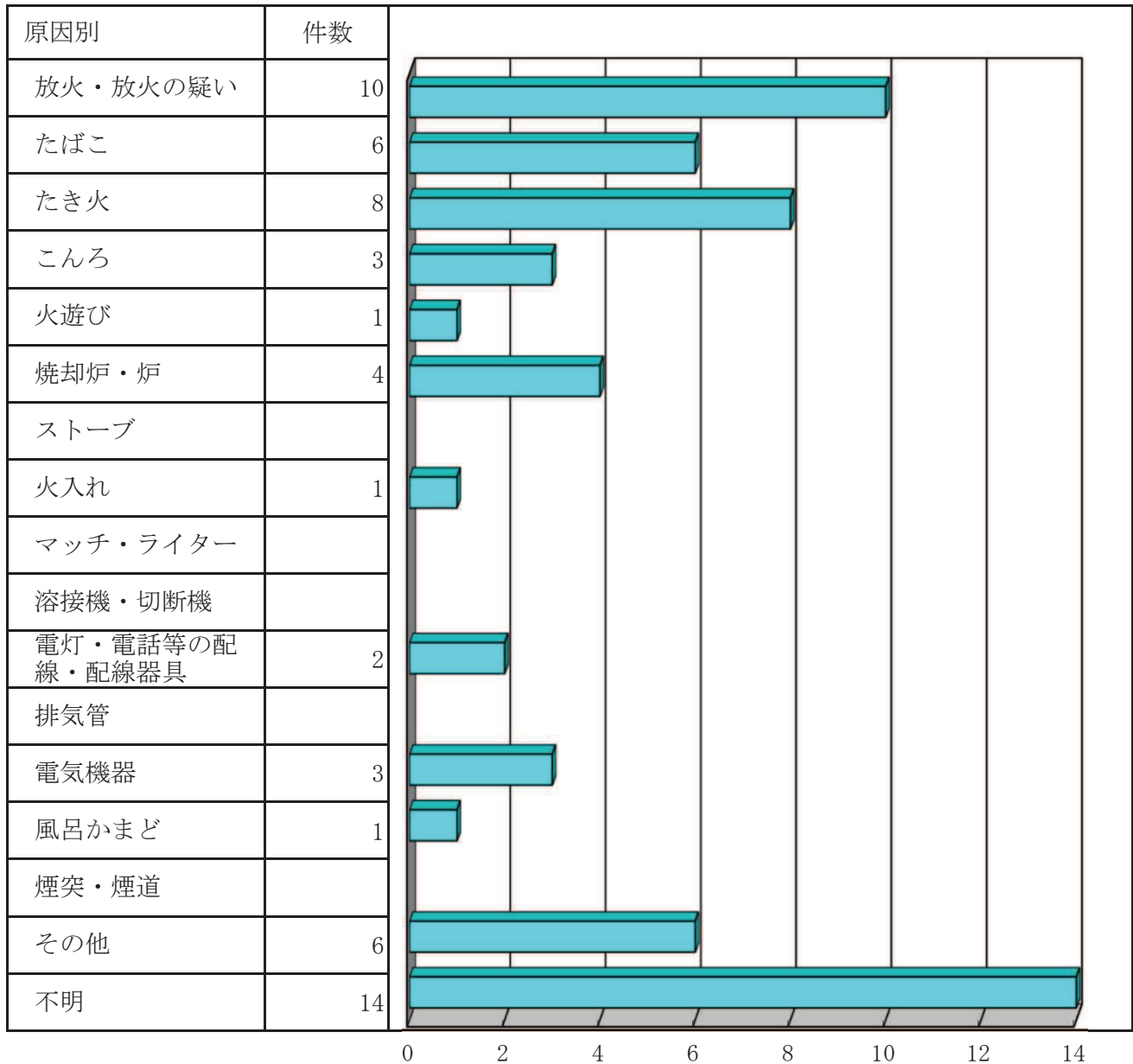
損害額の推移

〈単位：千円〉

年 損害額	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
損害額 (指数)	95,666 (100)	695,053 (727)	278,915 (292)	245,192 (256)	1,431,845 (1497)
1件当たりの損害額 (指数)	1,568 (100)	13,628 (869)	3,985 (254)	4,020 (256)	24,269 (1548)

※ 指数については、令和元年（平成31年）の損害額を100とした比をいう。

原因別火災件数



曜日別火災件数

(件)

火災種別	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災	計
曜日別							
日	2	1	1			5	9
月	3		1			4	8
火	4					4	8
水	6					3	9
木	7					4	11
金	2		1			3	6
土	4		1			2	7
不明	1						1
計	29	1	4			25	59

時間帯別火災件数

< 件 >

火災種別 時間帯別	火災件数						
	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災	計
0 ～ 1	2						2
1 ～ 2	1					1	2
2 ～ 3							
3 ～ 4							
4 ～ 5	2					2	4
5 ～ 6							
6 ～ 7	1					2	3
7 ～ 8	1		1				2
8 ～ 9	2						2
9 ～10						1	1
10 ～11	2					1	3
11 ～12	2					2	4
12 ～13						3	3
13 ～14		1				3	4
14 ～15	2					1	3
15 ～16	2					2	4
16 ～17	2					1	3
17 ～18			1			2	3
18 ～19	2						2
19 ～20	3					2	5
20 ～21	1					1	2
21 ～22	2						2
22 ～23	1		1			1	3
23 ～24			1				1
不明	1						1
計	29	1	4			25	59

火災による死傷者の推移

年 死傷者	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
死者 (人)	5	1	2	4	1
負傷者 (人)	5	8	4	8	4